

# エコシリコンつや消し

## 1 弾性

特殊変性シリコン樹脂により、弾性塗膜を形成し、従来のつや消し塗料では出来なかった防水形復層塗材 (JIS A 6909) のトップコートとして使用できます。

**適用下地**  
コンクリート・モルタル・PCパネル  
ALCパネル・スレートなど

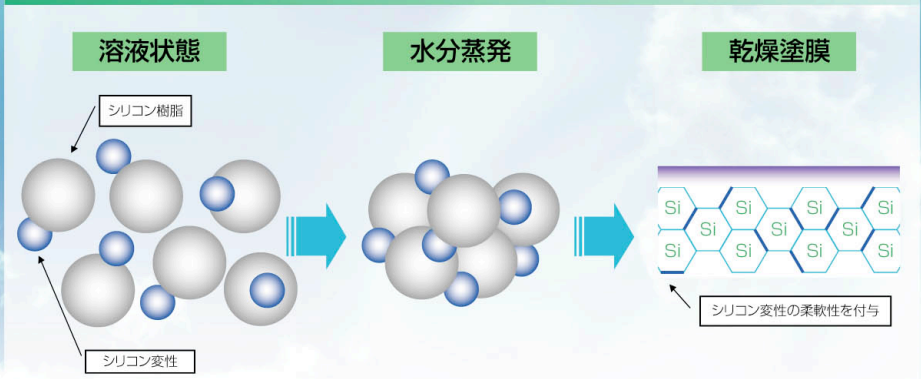
**適用箇所**  
建築物内外壁など

**商品体系**  
容量 16kg、3kg 調色品 淡彩色・中彩色・濃彩色  
色相 白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺

## 2 高耐候性

シリコン樹脂成分の強固なシロキサン結合は、耐候性に優れており、塗膜を長期にわたって保護します。

### 反応機構

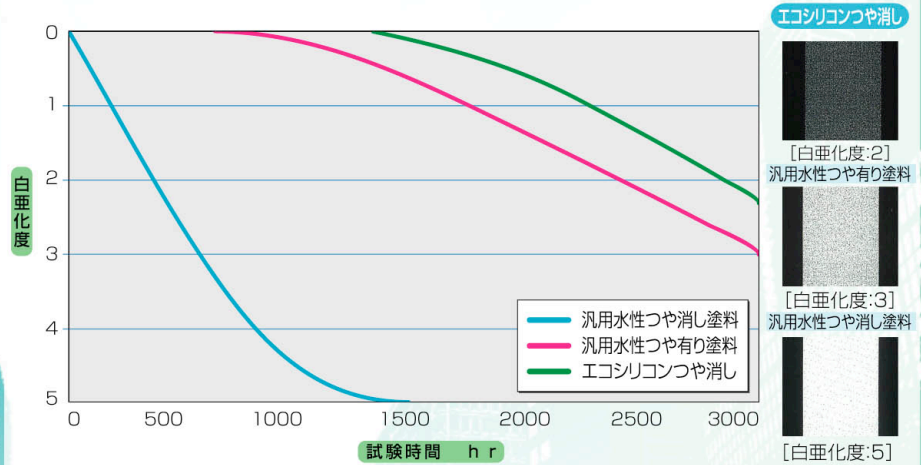


## 3 防かび・防藻性

### 防かび・防藻性

微生物(かび・藻など)の発生を防ぎ、長期間美観を維持します。

### 促進耐候性試験 (キセノンランプ式)



## 4 上品で落ち着いたあるつや消し仕上げ

60度鏡面光沢は5で、日本塗料工業会光沢基準値(つやなし6以下)に適合します。

### 塗膜性能

試験項目	試験結果	JIS A 6909 品質規格	
		防水形復層塗材E	防水形復層塗材RE
低温安定性	合格	塊がなく組成物の分離・凝集がないこと	
付着強さ N/mm <sup>2</sup>	標準状態	0.7以上	1.0以上
	浸水後	0.5以上	0.7以上
温冷繰返し	合格	試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び影れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと	
透水性B法 ml	合格	0.5以下	
耐衝撃性	合格	ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと	
耐候性A法	合格	ひび割れ及びはがれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上であること	

### 伸び性能

試験項目	試験結果	JIS A 6909 防水形復層塗材E、RE 品質規格
伸び	20℃	合格 伸び率 120%以上
	-10℃	合格 伸び率 20%以上
	浸水後	合格 伸び率 100%以上
	加熱後	合格 伸び率 100%以上
伸び時の劣化	合格	はく離、反り及びねじれがなく、主材に破断及びひび割れがないこと

### 適用可能な復層塗材主材

製品名	分類	通称
ラフンジャンボ ラフンローラー	JIS A 6909 復層塗材E	アクリルタイル
ラフン弾性ジャンボG ラフン弾性ローラーG	JIS A 6909 防水形復層塗材E	弾性タイル
ラフン弾性ジャンボRE ラフン弾性ローラーRE	JIS A 6909 防水形復層塗材RE	弾性RE
リメイクプラ	JIS A 6909 可とう形改修塗材E	微弾性ファイバー
リメイクソフト	-	高弾性ファイバー ※JIS A 6021の旧塗膜に適用可能



スズカコアイコ

## 標準仕様

平滑仕上

工程	塗料名	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法	
1	素地調整	●素地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ●素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・段差などは、予めラフトンフィラーなどの仕上塗材用下地調整塗材で平滑にする。					
2	下塗り	サンプラ 清水	100 0~5	0.08~0.10	1	3時間以上	はけ/ローラー/エアレス
3	上塗り	エコシリコンつや消し 清水	100 5~15	0.10~0.15	2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ/ローラー/エアレス

使用可能下塗り:サンプラ・サンプラホワイト・ラフトンEMシーラー・透明型EMシーラー・カチオンシーラー・EPO・ワイドシーラー・EPOなど

防水形複層塗材仕上  
凸凹模様

工程	塗材名	調合(重量比)	標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	間隔時間(23℃)	施工方法		
1	下地調整	●下地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ●下地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・段差などは、予めラフトンフィラーなどの仕上塗材用下地調整塗材で平滑にする。						
2	下塗り	サンプラ*1 清水	100 0~5	0.08~0.10	1	3時間以上	はけ/ワールローラー/エアレス	
3	主材塗り	基層塗り	ラフトン弾性ジャンボG 又はRE 清水	100 4~6	1.5~1.8	1	5時間以上	ラフトン1号又は3号ガン 口径4.0~6.5mm 吹付圧0.3~0.5MPa
4		模様塗り	ラフトン弾性ジャンボG 又はRE 清水	100 1~3	1.0~1.3	1	16時間以上*2	ラフトン1号又は3号ガン 口径6.0~8.0mm 吹付圧0.2~0.4MPa
凸凹処理模様の場合								
4'	凸凹処理	(ローラー押さえ)	-	-	-	16時間以上	カットローラー	
5	上塗り	エコシリコンつや消し 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ/ワールローラー/エアレス	

注\*1 適合下塗りはラフトンシリーズのカatalog参照。注\*2 凸凹処理1時間以内。

防水形複層塗材仕上  
ゆず肌状

工程	塗材名	調合(重量比)	標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	間隔時間(23℃)	施工方法		
1	下地調整	●下地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ●下地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・段差などは、予めラフトンフィラーなどの仕上塗材用下地調整塗材で平滑にする。						
2	下塗り	サンプラ*1 清水	100 0~5	0.08~0.10	1	3時間以上	はけ/ワールローラー/エアレス	
3	主材塗り	基層塗り	ラフトン弾性ローラーG 又はRE 清水	100 0~3	1.0~1.2	1	5時間以上	パターンローラー
4		模様塗り	ラフトン弾性ローラーG 又はRE 清水	100 0~3	1.0~1.2	1	16時間以上	パターンローラー
5	上塗り	エコシリコンつや消し 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ/ワールローラー/エアレス	

注\*1 適合下塗りはラフトンシリーズのカatalog参照。

## 塗替え仕様

可とう形改修塗材仕上

工程	塗材名	調合(重量比)	標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	間隔時間(23℃)	施工方法	
1	下地調整	●既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。●汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗(水圧:15MPa以上)で除去する。●水洗い面を乾燥させる。●既存塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。					
2	下塗り	リメイクブラ 清水	100 1~3	0.8~1.5	1	8時間以上	パターンローラー
3	上塗り	エコシリコンつや消し 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ/ワールローラー/エアレス

### 施工上の注意事項

- 下地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地の巣穴、クラック、不陸、目違いなどは、予め樹脂モルタルまたはラフトンフィラーなどで補修し、平滑にしてください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上及び結露が懸念される場合は、施工を避けてください。
- 強風時や降雨・降雪の恐れのある場合は塗装を避けてください。
- 吹付塗装の場合は、飛散防止の養生など十分に注意してください。
- 使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- うすめずきは、たるみ、隠れ不足、つや不良などを生じますので注意してください。
- たれ、塗り残しなどがないように均一に塗装してください。
- 仕様の各数値は、標準的な数値です。下地の形状や状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。
- 各工程の間隔時間、塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
- シーリング面に塗装する場合は、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。  
(ポリサルファイド系シーリングの場合は、2回塗りしてください。)
- 尚、シリコン系及びブチル系シーリングの場合、塗装を避けてください。
- 塗装面とプラスチックなど可塑性を含むものとが接触する箇所には塗装しないでください。
- 補修塗りは、使用した塗料(同一ロット)を用いて、同じ塗装方法で行ってください。
- 本カatalogに記載以外の下地や仕様で塗装される場合は塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

### 取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。  
防塵マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋、前掛けなど
- 容器から取り出す時に、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。  
雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 捨てるときには、産業廃棄物として処分してください。

注) ①建物の構造、塗装部位(雨のかかりが少ない面、汚れが多量に集まる面など)によっては、低汚染効果が発揮されないことがありますのでご了承ください。  
②各製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。また、製品の詳細な内容が必要な時には、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX 059-397-6191  
 技術本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX 059-346-4585  
 札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255  
 大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621  
 九州支店 ☎092-938-0071

取扱店

53



URL <http://www.suzukafine.co.jp/>

●このカatalogに記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

12/02